

# ハギ類の養殖技術確立を目指して

## ウマツラハギに最適な給餌方法および飼料組成の把握

### 【ハギ類の特徴】

- ・ハギ類(ウマツラハギ、カワハギ)は魚価が高く、養殖業者にとって収益性の高い養殖対象魚種として近年注目されています。
- ・ハギ類は無胃魚のためエサを食い溜めることができません。そのため、マダイやブリのように、短時間で集中的に給餌する手撒き給餌では十分量を給餌することができません。
- ・また、養殖ハギ類の肝臓は天然物よりも大きくなるのが特徴的です。ハギ類の肝臓は肝あえ等にすると美味で食材として重宝されており、可能な限り肝臓を大きくして出荷することが重要です。

### ●課題

- ①ハギ類に最適な給餌方法は？
- ②肝臓を肥大させる養殖手法は？



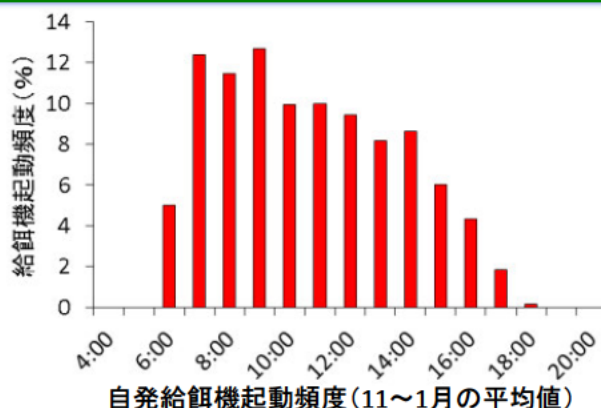
＜ウマツラハギ＞

### ①ウマツラハギに最適な給餌方法の把握

一日のうちどの時間帯にウマツラハギの摂餌が活性化するかを調べるために、自発摂餌機(※)を用いて摂餌パターンを解析したところ、ウマツラハギは日中に継続的に摂餌することがわかりました。

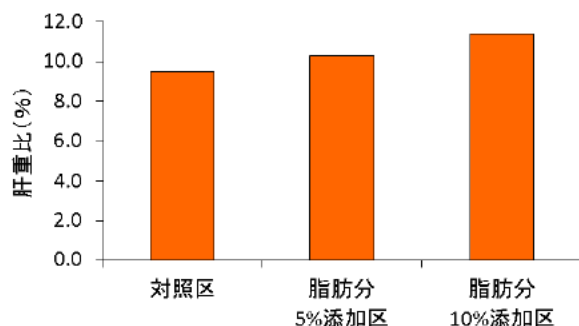
このことからウマツラハギ養殖には、自動給餌機を用いて朝から夕方までとぎれ目なく給餌することが必要と考えられます。

※自発摂餌機とは・・・  
魚の学習能力を利用し、魚自身の食欲に応じて給餌する方法。給餌機に連動した自発摂餌スイッチに魚がアクセスすると一定量のエサが給餌される仕組み。



### ②ウマツラハギの肝臓の価値を高める飼料組成の把握

肝臓を効率的に増重できる飼料組成を把握するために、異なる割合で脂肪分を添加した飼料を約1か月間ウマツラハギに給餌したところ、飼料中の脂肪含量が多いほど肝重比(体重に占める肝臓の割合)が大きくなることがわかりました。



①と②の成果によって、高品質なウマツラハギの効率的な生産が可能です。



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute Owase Branch

〒519-3602 尾鷲市天満浦字古里215-2

TEL (0597)22-1438

FAX(0597)22-1439